



2023年度  
上期業績



売上収益

**2兆1,017億円**

恒常為替レート（CER）ベースで+1.4%の成長



Core営業利益

**5,888億円**

△5.8%の変動（実勢レートベース）、  
△9.5%の変動（CERベース）は、  
後発品参入による影響、新型コロナ  
ウイルスワクチンの需要減、  
研究開発およびデータとテクノロ  
ジーへの投資の増加を反映

Core営業利益率

**28.0%**

財務ベース営業利益

**1,192億円**

非資金性の無形資産減損損失  
が影響し、△53.2%の変動  
(実勢レートベース)



2023年度上期業績

充実した成長製品・新製品の  
ポートフォリオが売上収益の  
伸長を牽引

42%

売上収益全体に占める割合

+13%

CERベースの成長



Core売上収益

**3兆9,800億円**

Core営業利益

**1兆150億円**

Core EPS

**447円**

為替前提および想定税率の変更を反映し、  
通期Core売上収益およびCore EPSの予想を上方修正

マネジメントガイダンス（CERベース）は変更なし

Core売上収益

1桁台前半%  
の減少

Core営業利益

10%台前半  
の減少

Core EPS

20%台前半  
の減少





本プレゼンテーションには、当社の将来の事業、将来のポジションおよび業績に関する将来見通し情報、理念又は見解が含まれています。重要な注意文言を含む、当社の将来に関する見通し情報に関する詳細については、当社の2023年度第2四半期決算の投資家向けプレゼンテーション (<https://www.takeda.com/jp/investors/financial-results/quarterly-results/>) をご参照ください。ここに記載されている情報は、開発品を含むいかなる医療用医薬品の効能を勧誘、宣伝又は広告するものではありません。

CER (Constant Exchange Rate : 恒常為替レート) ベースの増減は、当期の財務ベースの業績もしくはCore業績について、前年同期に適用した為替レートを用いて換算することにより、前年同期との比較において為替影響を控除するものです。

Core売上収益、Core営業利益、Core営業利益率、Core EPS、CERベースの増減、純有利子負債、調整後EBITDAおよびフリー・キャッシュ・フローは、会計基準(IFRS)に準拠しない財務指標です。投資家の皆様におかれましては、IFRSに準拠しない財務指標につき、当社の2023年度第2四半期決算の投資家向けプレゼンテーション (<https://www.takeda.com/jp/investors/financial-results/quarterly-results/>) の末尾にあるAppendixを参照の上、その定義と、これらに最も良く対応するIFRS準拠財務指標との調整表をご参照くださいますようお願い申し上げます。